



西脇市

議会だより



2026.8.1



令和8年8月29日(土)
第5回日本のへそ西脇夏祭り開催



議会だよりは
このコードからも
ご覧いただけます。

特集 常任委員会の活動	2
議案審議結果	5
一般質問	6
議会報告会	12
委員会レポート	13
まちかどレポート	16

常任委員会の活動

第114回6月定例会を開催しました。各常任委員会で議論した主な内容は、次のとおりです。

総務産業常任委員会

議案第37号 西脇市行政手続条例の一部改正

行政手続法改正に伴い、主な内容は、不利益処分の対象で所在不明者への通知（公示）の方法や市役所掲示に加え、ホームページ等でも閲覧を可能とするデジタル化などとなっている。

議員 公示期間終了後の情報管理はどのように行うのか。検索サイトへの掲載やデータの残存などの課題についてはどのように考えているのか。

行政 インターネット上に掲示する際は事前に掲示期間を設定しており、期間終了後はネット上から削除する。また、住所や氏名等が転用できないよう加工した上で掲載している。本改正は国の行政手続法に準じたものであり、個人情報保護に関する措置は法的に担保されているものと認識している。

議案第39号 西脇市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

国又は他の地方公共団体の要請に基づき、重大な災害が発生した地域で応急対策に従事する職員に支給する「災害応急作業等手当」の額を改定するもの。

議員 「著しく危険な作業」とは具体的にどのような業務を想定しているのか。また、その認定に当たり、職員間や所属部署によって取扱いに差が生じることはないよう、どのような基準で運用されているのか。

行政 国が示すガイドラインに基づくもので、災害対策基本法に基づき立入禁止区域に指定された区域内での作業等を想定している。所属部署ではなく従事する作業の内容によって区別することとしており、派遣先でどのような作業に従事するかによって判断が変わる。なお、国又は他の地方公共団体からの派遣要請があることが前提であり、既に相応の規模の災害と認定されているケースがほとんどであると想定している。

議案第42号 西脇市産業立地促進措置条例の一部改正

西脇市への本社機能移転・拡充を促進するため、対象事業者への固定資産税軽減制度の適用期間を令和10年3月31日まで延長するもの。対象は、東京23区から西脇市内への本社機能移転や市内企業の本社機能拡充等。

議員 本社機能が現在ある場所以外の場所で拡充する場合も、この条例の対象となるのか。

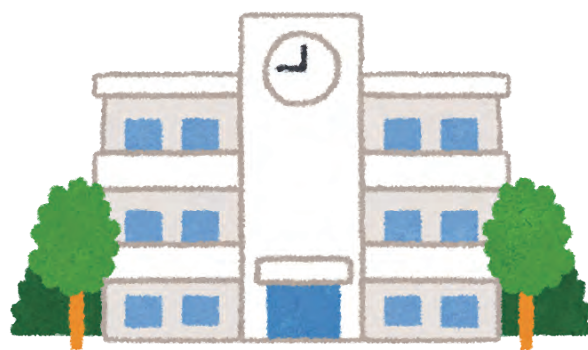
行政 兵庫県本社機能立地支援計画に定める「地方活力向上地域」（市内8区域を指定）内であれば、現在立地している場所以外での本社機能の拡充であっても対象となる。市街化区域や工業団地、地区計画により建築規制ができる区域等を中心に8区域を指定している。

議案第49号 工事請負契約（西脇中学校校舎等屋上防水・外壁塗装工事）の締結について

西脇中学校校舎等の長寿命化を図るため、屋上防水、外壁改修、上水道管やガス管の更新工事を実施するもの。

議員 この工事は以前から予定されていたものか、それとも西脇中学校と(統合予定の)東中学校の統合の決定を受けて追加されたものか。

行政 本工事は令和7年度当初予算で実施設計を行ったものであり、両校の統合が決定する前から予定していたもので、統合を理由に予定したものではない。



文教民生常任委員会

議案第40号 西脇市放課後児童クラブ条例の一部改正

議員 条例で「重春第3クラブ」設置の記載漏れという重大な事案に対し、具体的な再発防止策、また、保育料の返還が不要であると判断した根拠を問う。

行政 複数名による確認など組織的体制を強化し再発防止で防ぐ。保育対価は提供されており実害はないため返納不要と判断した。

※委員会として、理事者には再発防止策が最終決定した際は、委員会に報告をするよう要請している。



私は賛成です!

林 晴信

条例上の不備を是正する議案には賛成するしかないが、約9年間の違法状態の放置、利用料徴収の法的整理、市長の説明責任には重大な課題が残ることを指摘しておく。

議案第41号 西脇市立介護老人保健施設条例の一部改正

介護保険法に規定する食費の基準費用額の改正に伴い、しばざくら荘での食費を値上げする。

議員 食費が改定となった根拠、近隣施設の設定状況や利用者負担への配慮について問う。

行政 近年の食材料費の高騰等により国の基準費用額と実費との間にかい離が生じていることから、当該基準費用額について、令和9年度の予定を1年前倒しで引き上げられたことに伴う改正である。食費は各施設が設定するものであり、近隣施設についても同様に国の基準費用額と同額に改定されることを確認している。民間施設では、国の基準を上回る金額を設定している施設もあるが、しばざくら荘では利用者負担への影響を考慮し、国の改正趣旨に沿った範囲で見直しを行う。

議案第40号に対する質疑

林 晴信

質疑 重春第3クラブ（放課後児童クラブ）は平成30年から運営され、利用料も徴収されているが、条例に位置付けられていなかった。地方自治法違反だが、設置・運営、利用料徴収の法的根拠は何か。

答弁 本来行うべき条例改正を行わないまま、設置根拠を欠く状態であったことを重く受け止めている。利用料については、提供した保育サービスに対する対価として、保護者との同意の上で徴収している。

質疑 約9年間、複数回の条例改正や予算・決算を経ても不備が発見されなかったことを、市は単なる事務処理ミスではなく、条例管理・内部統制の不全と認識しているか。

答弁 事務処理上の単純なミスから法令遵守がなされていなかったと捉えている。二度とこのような事態を招かぬよう、職員の法務能力向上と意識改革に努め、再発の防止に取り組む。

録画配信はこちらからご覧ください。



議案第50号 西脇市福祉医療費助成条例の一部改正

兵庫県福祉医療費助成事業実施要綱等の改正に伴い、西脇市福祉医療費助成条例を改正する。

議員 今回の条例改正の背景と今後の想定を問う。

行政 今回の改正は、令和7年4月の年金支給額の引き上げに対応するものであり、令和8年4月も引き上げられていることから、今後の県要綱の改正状況によるものの、今回同様の対応が想定される。

予算常任委員会

議案第45号 令和8年度一般会計補正予算
(第1号) 60万円

都市交流事業

議員 旅費の増額理由は。

行政 レントン市への中学生親善使節団交流事業で1人当たりの燃油サーチャージが高騰したため、航空運賃全体としての差額分を計上した。



税務課事務事業 170万円

議員 軽自動車税環境性能割徴収取扱費負担金の増額理由は。

行政 令和6年度の登録台数1,562台から令和7年度の登録台数3,609台と大幅に増加したためである。

生活保護事業 1,924万円

議員 最高裁判決を踏まえて保護費等の追加給付を行うものだが、遡及対象期間、対象世帯及び1世帯当たりの平均支給金額は。

行政 期間は平成25年8月から令和8年3月末まで、対象世帯は、現在受給中の230世帯に加え、期間は平成25年8月から令和8年3月末まで、対象世帯は、現在受給中の230世帯に加え、過去に受給していた300世帯の計530世帯を見込んでいる。平均支給額を一概に示すことは難しいが、試算ではゼロ円から障害者加算等がある世帯では20万円を超える場合もある。



担い手育成・確保推進事業 4,886万円

議員 農地利用効率化等支援事業補助金の減額理由と、新たに創設された地域農業構造転換支援事業補助金との関連は。

行政 地域農業構造転換支援事業は、国の令和7年度補正予算により創設され、担い手が経営改善のために行う機械・施設等の導入を支援するものである。既存の農地利用効率化等支援事業で予定していた案件については、国からの要請により、この新規事業を活用するよう調整する。



議案第46号 令和8年度老人保健施設特別会計補正予算(第1号)

老人保健施設維持管理運営事業 858万円

議員 非常用自家発電設備設は更新の必要はあるのか。

行政 当初予定していた温水発生装置等更新工事の財政負担の軽減を図るため県と協議を重ねる中、非常用自家発電設備の更新を一体的に行うことで、国の補助制度を活用できる見込みとなった。補助率については、温水発生装置が3分の2、非常用自家発電設備は4分の3である。



一目で分かる審議結果

6月定例会議案審議結果一覧 ●全員一致で可決した議案

議案番号	議案名
報承第2号	市税条例の一部を改正する条例の制定について
議案第37号	行政手続条例の一部を改正する条例の制定について
議案第38号	市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
議案第39号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第40号	放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例の制定について
議案第41号	市立介護老人保健施設条例の一部を改正する条例の制定について
議案第42号	産業立地促進措置条例の一部を改正する条例の制定について
議案第43号	都市計画下水道事業受益者負担金徴収条例及び黒田庄地区下水道事業分担金徴収条例の一部を改正する条例の制定について
議案第44号	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について
議案第45号	令和8年度一般会計補正予算(第1号)
議案第46号	令和8年度老人保健施設特別会計補正予算(第1号)
議案第47号	令和8年度介護保険特別会計補正予算(第1号)
議案第48号	固定資産評価員の選任について
議案第49号	工事請負契約(西脇中学校校舎等屋上防水・外壁塗装工事)の締結について
議案第50号	福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について



議案の詳細はこちら

議会会議室を学習ルームとして開放しています。

夏休み前から学習場所の一つとして、8月28日(金)まで議会会議室を開放しています。

◎ 平日：午前9時から午後4時30分まで

◎ 対象：中学校以上の生徒・学生

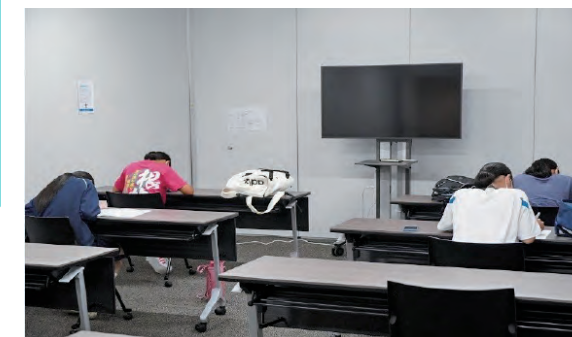
◎ 実施場所：市議会会議室(市庁舎西棟 228会議室)



利用ルール

- ・飲食は禁止です。(水分補給用のペットボトル等の持込みは可能です)
- ・貴重品の管理は各自で行ってください。
- ・ごみは各自で持ち帰ってください。

会議等がある日は使用できないため、詳細はFacebookでご確認ください。







ここが聞きたい! 一般質問

一般質問は、議員個人が自身の考えのもとに提案や課題を行政に投げかけ、市の見解を市長や教育長、部長から聞き、政策討論をする重要な場です。今回は、11人が市民生活にかかわることについて質問や提言を行いました。

テーマは自由
 質問内容は、議案とは関係なく議員が自由に決めることができます。

制限時間は60分
 1人あたりの制限時間は、市長等からの答弁も含めて60分以内です。

ホームページにも掲載
 質問項目を事前にホームページに掲載。傍聴者にも配布しています。



胃がんゼロを目指すピロリ菌対策

藤原 哲也

録画配信
はこちら



議員 胃がん発症を大幅に下げる簡易なピロリ菌無料検査クーポンの発行は、自身の予防のみならず、将来の国保医療費を劇的に抑制する効果があり、子育て世代の除菌は次世代への家庭内感染を断ち切る意義もある。周辺自治体に先駆けて導入し、福祉等とも連携した部局横断的な取り組みで「胃がん死亡者ゼロの街」を目指すべきではないのか。

行政 令和8年度から、町ぐるみ健診会場に加え、西脇病院や多可赤十字病院においても胃がん検診及び胃がんのリスク検査であるABC検診を受診できる体制を整備している。検診費用の2分の1を助成する場合には事務費、クーポン券印刷費などを含め年間約120万円となり、無料クーポン券を発行する場合は、同様の経費を含めて、年間約180万円の事業費が必要となる。

議員 除菌成功後も胃粘膜のダメージによるわずかな発症リスクが残るため、早期発見の定期的な内視鏡検診等の個別フォローが不可欠である。優れた医療技術を持つ西脇病院や西脇市多可郡医師会

と連携し、検査から除菌、術後の経過観察まで一貫して行う「西脇市独自の胃がん予防・治療ネットワーク」の構築に対する見解を問う。

行政 胃がんに限らず、がん対策全般で検診の受診から精密検査、治療、さらには治療後のフォローアップに至るまでの切れ目のない支援が重要であると考えている。西脇病院や西脇市多可郡医師会と連携し、胃がん対策など、がん検診全体の受診率や質の向上に努めるとともに、受診後の支援体制も研究していく。



ピロリ菌検査で『胃がん死亡者ゼロの街』へ



録画配信
はこちら

図書館のさらなる充実に向けて

藤本 留実



議員 図書館は、「みらいえ」の中核施設として整備され、貸出密度が全国トップクラスとなるなど、市民の学びや読書活動を支える重要な役割を果たしている。そこで、図書館の理念や役割を明確にし、将来にわたり安定的な運営を図るため、独立した図書館条例の制定に対する市の考えは。

行政 茜ヶ丘複合施設条例で、交流活動の推進やコミュニティ形成など施設理念を定義している。図書館が担う資料収集や調査支援、関係機関との連携も同条例で規定し、現時点では独立した条例を制定する必要はないと判断している。

議員 市民や学校関係者、ボランティア団体などの意見を図書館運営に反映する仕組みとして、図書館法に基づく図書館協議会の設置に対する市の見解を問う。

行政 教育委員会では、「社会教育委員の会」での意見聴取や毎年500人以上の利用者の意見把握、図書館ボランティアとの意見交換を行っており、市民や利用者の意見を反映できていると判断して

いるため、協議会の設置は考えていない。

議員 貸出密度の現状と推移及び市民参加による「学びと交流の拠点」化に向けた今後の展開について、教育長の考えを問う。

行政 令和6年度の年間1人当たりの貸出冊数である貸出密度は、全国の同程度の人口規模では、93市中2位、過去5年間では9～10冊である。今後も様々な主体との連携を深め、誰もが生涯にわたって学び、読書に親しめる環境づくりに取り組む。



茜ヶ丘複合施設『みらいえ』の中にある西脇市図書館



録画配信
はこちら

高齢者の移動支援と免許返納の状況

巽 泰



議員 高齢化が進む中、免許返納後の移動手段の確保が課題となっている。買い物や通院、ゴミ出しに困る高齢者や、移動販売車の駐車場所まで歩くことが難しい方がいるという実態がある。そこで、移動販売などの既存サービスについて、移動が困難な高齢者の実態に対する市の認識、電動カートの有効性に対する評価やレンタル費用助成など独自支援の可能性があるのか問う。

行政 移動販売等の既存サービスは、買い物支援や移動手段の確保に大きく寄与している一方、自宅から駐車場所まで歩くことが困難な方が一定数いることは認識している。このような方々への支援は、在宅生活を継続する上で、不可欠な要素であると考えている。

電動カートは、転倒や脱輪等による事故の可能性がある一方、歩行に不安がある高齢者が、近距離を移動する手段として、日常生活の範囲を広げるために有効な手段である。利用者の自立を支え、外出の機会を創出することで、閉じこもりを防止

し、ひいては介護予防、社会参加の促進につながるものと認識している。

電動カートは、介護保険制度の中で要介護2以上の人を対象に福祉用具として、レンタルする方法がある。要支援、要介護1の人であっても、利用基準を満たしていればレンタルできる。介護保険制度の中で、専門職の視点を入れながら、必要とされる人に使用していただきたいと考えているため、現在のところ費用助成制度の導入は考えていないが、移動に困られている人への移動支援については、今後も研究していきたい。



電動カートによる移動支援



クマ出没対策にむけて

吉井 敏恭

録画配信
はこちら



議員 目撃情報が発生した際に、市民に対してどのように周知し、通学路、学校、保育施設などの安全確保をどのように行うのか。

行政 目撃情報があれば、防災行政無線やSNS、自治会等を通じて、市民へ注意喚起を促す。目撃場所によっては、通学路や学校周辺での安全確保のため、教育委員会、高等学校、小中学校等へ情報共有している。

議員 クマが生活圏に出没した際の初動体制と緊急銃猟への備えはあるのか。



熊出没 遭遇時はゆっくり後退を

行政 クマが生活圏に出没した際には、庁内関係部署、西脇警察署、猟友会、兵庫県と連携しながら、現地確認、市民への注意喚起、必要に応じた立入制限等を行う。人身被害の発生、又はその切迫した危険がある場合、関係機関と相談し、有害捕獲や緊急銃猟など必要な対策を講ずる。

緊急銃猟については、極めて慎重な判断を要する一方で、市民の生命・身体を守るため、緊急時の選択肢として関係機関との連携あり方を事前に整理しておく必要がある。

議員 クマの出没対策は長期化が予測されるが、クマ対策を危機管理の観点からどのように捉え検討を進めるのか市長はどのように考えているのか。

行政 クマ対策は危機管理上の重要な問題であり、市としては、安全確保のため、有害捕獲など、できる限りの対応を実施していきたい。また、緊急時に備え、猟友会との連携強化やクマ出没対応マニュアルの整備を図るとともに、ガバメントハンターの必要性についても認識しており、その導入についても検討していきたい。



暮らしを支える地域交通と移動手段の確保

杉本 佳隆

録画配信
はこちら



議員 日野地区の路線バスのルート変更を提案する。運転免許返納者等の移動支援は、買い物や通院に加え、社会参加や健康維持面からも重要である。羽安町方面から西脇北高校口へ向かう路線バスを小坂町経由に見直すことで、成田山周辺の医療機関やスーパーへの利便性が向上する。

移動環境の充実を図るという観点から、限定便の運行を含め、ルート変更をする考えはあるのか。

行政 路線バスについては、需要や状況の変化によりルートを変更することはあるが、市町間を超えて広域で運行しているため、沿線市町や運行事業

者との協議を踏まえての対応となる。現在のルートをご利用いただいている方への影響など、ルート全体で支障が生じないかを確認し、慎重に運行事業者と検討したいと考えている。

小学生下校時の安全対策

議員 猛暑の中、小学生の下校時は一日の中でも最も気温が高い時間帯と重なり、長時間徒歩で下校する児童は熱中症リスクにさらされている。現在の猛暑環境下における児童の下校時の安全確保について、どのような対策を講じているのか。

行政 登下校時は、帽子着用や水筒持参に加えて日傘やクールネックの使用を推奨している。校門付近の暑さ指数が一定基準を超える場合、全学年で一斉下校を行う。また天候により、下校時刻を午後4時まで遅らせる場合もあり、状況に応じて、お迎えをお願いすることもある。また、「にしわきクールオアシス」として、20人以上の御協力により、暑さをしのげる場所が提供され、地域住民や民家の協力も今後の研究材料となる。



もっと便利に
もっと安心に



録画配信
はこちら

将来を担う加古川線の維持・存続に向けて

岸本 年裕



議員 JR加古川線は、市民の生活や通学を支える重要な生活インフラである。山陽本線と福知山線を結ぶ広域交通ネットワークの一部で移動手段として大きな役割を担っている。JR加古川線の維持・存続に向けてどのように取り組むのか。

行政 JR加古川線は、将来にわたって持続可能なまちづくりを推進するための「地域の生命線」としての重要な役割を担っている。この路線を次世代へ引き継いでいくため、兵庫県や沿線自治体と連携し、利用促進となる取組を進める。また、沿線地域の皆様や市内の学校園の御協力をいただきながら、イベントの開催や啓発を進める。

議員 将来を担うJR加古川線の維持は単なる移動手段の問題ではなく、学生の通学や定住促進、防災対策にも関わる重要な課題である。また、国道175号延伸と合わせて広域交通ネットワークとして一体的に考えるべきである。今後も国や関係機関への要望活動を継続し、地域の交通基盤を未来へつなぐよう求める。



加古川線を愛そう



録画配信
はこちら

中学校部活動地域展開にむけて

長谷川 智春



議員 地域クラブへの展開に伴い、保護者見守りのもと、学校施設を活用し生徒主体で活動できる形態や地域クラブの指導者に学校へ来ていただく形態など、今後の地域クラブとして運営について検討している内容はあるのか。

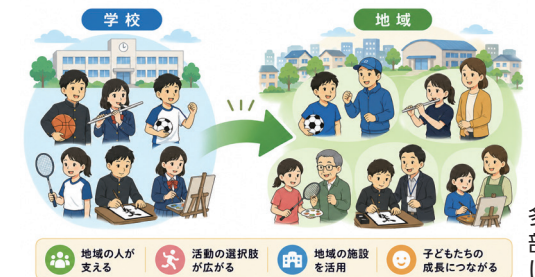
行政 保護者の見守りのもと、生徒主体での活動することについては、当該生徒が卒業した後の組織としての継続性などに課題があることから、地域クラブとしての形態として考えていない。地域クラブの指導者に学校へ来ていただくことについては、想定している形態の一つであり、すでに剣道が西脇南中学校で実施されている。今後の地域クラブの運営形態として検討している内容は、一つの地域クラブが複数箇所に分散し、指導者をそれぞれで派遣していく「分散型」の運営が考えられる。大人数の受け入れを検討している団体に伴走支援する中での運営形態の一つとして検討している。

議員 地域クラブの備品や消耗品にかかる費用を市

として補助する考えはあるのか。

行政 地域クラブ運営に係る費用については、指導者報償費や指導者・生徒の保険料、連絡用アプリ及び指導者研修システム使用料、会場使用料等がある。これらは、基本方針に則って、受益者負担を原則としているが、現在は、実証事業として市がすべて負担している状況である。学校部活動地域展開に係る補助制度は今年度から拡充が図られているところではあるが、立ち上げ時の消耗品購入補助などについては、現在、国で財源確保や制度整備について議論が進みつつある。

部活動地域展開



多様な
部活動地域展開
に向けて



自転車の安全対策

浅田 康子

録画配信
はこちら



議員 本年4月から16歳以上の自転車の交通違反に反則金制度が導入された。自転車は「軽車両」に位置付けられ、市民の意識向上が重要だが、今後どのように自転車安全対策に取り組むのか。

行政 自転車の安全運転意識を高めるため、毎年市内4中学校で新入生が入学する4月中旬に、交通安全教室を実施している。今後も引き続き、市内のこども園から小中学校や高齢者に交通安全教室を実施することで、年齢に応じた交通安全啓発の継続的な実施とともに、自転車の運転者に対しても啓発・周知する必要があると考えている。



SDGs

SDGsの取組から見る市の将来は

議員 企業版ふるさと納税の獲得も視野にSDGsを積極展開する企業へアプローチし、拡大を図ることを提案するが、市の見解は。

行政 これまでの企業版ふるさと納税の獲得においても、それぞれの企業理念に沿って、本市のSDGsに関連する事業を提案したが、財政的な支援のお願いだけではなく、企業が持つ人材や情報などを組み合わせ、パートナーシップの拡大に努めることが重要であると考えている。

議員 起業や就労を目指す女性と子育てや家庭生活を重視する女性の双方を尊重する観点を男女共同参画の推進の中でどのように捉えているか。

行政 男女共同参画推進の目的は、性別にかかわらず、誰もが自らの意思に基づいて多様な生き方や働き方を選択し、一人ひとりが個性と能力を発揮できる社会を実現することで、就労や子育て等のいずれかを優先するのではなく、それぞれが尊重されるべきものであると捉えている。



障害福祉制度と支援現場の乖離を考える

馬場 智大

録画配信
はこちら



議員 重度障害者への支援現場では、生活介護と日中一時支援が制度上は別サービスでありながら、同じ場所や職員、内容の支援が行われている実態がある。一方で、日中一時支援になると報酬が大きく下がり、専門職の確保や事業所運営に影響が出ている。この制度上の矛盾について、市はどのように認識しているのか。

行政 生活介護は、常時介護を必要とする障害のある方を対象とした障害福祉サービスで、国が一律の報酬基準を定めている。日中一時支援事業は、障害のある方の日中での活動の場を確保し、家族

の就労支援や一時的な休息を図ることを目的とする市町村ごとの地域生活支援事業であり、市町村で報酬基準を決定している。

両サービスは、目的や基準が明確に異なり、根拠となる法令も違うため、報酬基準が違うのはやむを得ない側面があると認識している。

議員 日中一時支援は、市が策定した障害福祉計画でも利用ニーズの増加が見込まれている。しかし、現在の報酬体系は、小規模事業所ほど負担が大きく、サービス体制の維持が困難になる懸念がある。北播磨広域の協議で、この課題を議題として取り上げる考えはあるのか。

行政 『障害福祉計画』は、福祉サービスの利用ニーズ（需要量）の推移を見込み、必要な受け皿（供給量）の確保目標である。生活介護と日中一時支援は制度が大きく異なるものであり、それぞれの制度に則して事業者は適切に運営されており、計画の目標も達成できると見込んでいるため、課題にまでは至っていないと考えている。



持続可能な
障害福祉を目指して



録画配信
はこちら

公教育における政治的中立性の確保

藤原 秀樹



議員 文部科学省が辺野古移設反対運動に関する学習プログラムを教育基本法違反と判断し『平和教育は否定しない。しかし、平和教育の名で生徒を特定の政治運動の現場に連れて行き、抗議船に乗せる事は、教育ではなく政治的動員である』と示した事を踏まえ、本市教育委員会はどのように認識されているのか。

行政 教育基本法第14条第2項では、「法律に定める学校は、特定の政党を支持し、又はこれに反対するための政治教育その他政治的活動をしてはならない」と定められており、教育現場では、政治的中立性は当然確保されるべきものであり、遵守を徹底しているところである。

議員 多可町・西脇市教職員組合による辺野古基金への寄付が教育の中立性への疑念につながらないのか。また学校内における、政治活動の実態把握をされているのか。子どもたちが特定の思想やイデオロギーに誘導される事なく、自ら考え判断する力を育むため、政治的中立性の確保と国、地域

を愛する心を育む教育の推進について尋ねる。

行政 教職員組合は、「労働組合」としての側面を持ち、寄附行為等の活動は法律に則って、適正に行われるべきであり、学校内外から問題の報告はなく、教育委員会として何らかの見解を有するものではない。また、国や地域を愛する心を育む教育の推進については、子どもたちが偏りのない確かな視点を持ちながら、たくましく未来を切り開いていけるように、公教育における中立性を保持し、公正かつ質の高い教育活動の推進に取り組む。



公教育の政治的中立性



録画配信
はこちら

旧同和地区を知らせる必要はない

寺北 建樹



議員 令和5年の議会答弁で、隣保館での生活相談に過去6年間、部落問題に起因する相談はなかった。以降は、どのようになっているのか。また隣保館の教養講座（無料）に旧同和地区の人たちの参加率は、何%なのか？

行政 平成27年度以降、現在に至るまで部落差別（同和問題）に起因する窓口での相談はない。隣保館の教養講座の旧同和地区の方々の参加率については、現在算出していない。

議員 隣保館＝旧同和地区です。カーナビに〇〇隣保館という表示が出れば、そこが旧同和地区だということがわかる。隠す必要はないが、わざわざ知らせる必要はないと考える。名称の変更、さらには廃止をすべきではないか。

行政 隣保館の名称変更については、地元の皆様の御意見を基本としており、設立から今日までの経緯経過を踏まえ、慎重に対応しなければならないと考えている。現状、地域からの名称変更についての意見は出ていない。

議員 4月6日付けの神戸新聞に『同和教育 継承に悩む現場 若手教員「自信ない」「接する機会がない」』という記事が掲載された。同和問題を小・中学校で教えることには無理があると考え。どのような内容で教えているのか？

行政 小中学校における部落差別解消に向けた学習は、主に社会科において、歴史的背景を学ぶ内容として取り上げている。また、道徳科や人権学習に関連付けながら、差別の不合理さや人権尊重の重要性について理解を深める学習が行われている。



教養講座

令和8年度 議会と語ろう会

意見交換会テーマ

議員定数・学校統廃合・公共交通について

5月21日 小坂町

5月29日 比延町

5月30日 郷瀬町



◆参加者のご意見◆

●議員定数について

- ・人数は今のままでよいが、質を上げてほしい。
- ・今、近隣で定数減が流行っているからといって西脇市も減らさなくてもいい。
- ・16人全員がしっかり活動していれば、もっと西脇市は良くなっているはず。
- ・地区には議員は必要である。
- ・議会の役割や活動が十分に伝わっていない。

●学校統廃合について

- ・統合後、通学する生徒の安全確保のため、防犯カメラの設置や交通安全対策を進めてほしい。
- ・今後の部活動（地域展開）がどのようなになるのか不安であり、具体的な説明がほしい。
- ・統合が行われる場合には、校区の柔軟な運用を検討してほしい。
- ・小中一貫校化を進めるべき。

●公共交通について

- ・「むすブン」を増便してほしい。
- ・免許返納後、高齢者の移動が非常に不便になる。
- ・タクシーの営業終了時間が早く、夜間の移動手段が不足している。

●その他の意見

- ・少子高齢化や若者の流出、雇用の確保など、市としてどのように取り組んでいくのか。
- ・子育て支援は充実しているが近隣自治体と比べて実施時期が遅いと感じる。

～ご参加ありがとうございました～

議会運営委員会の活動報告

課題懇談会

（西脇市連合区長会）

2月26日に西脇市連合区長会から「西脇市議会の適正な議員定数の検討に関する申入書」が提出されたことを受け、4月に正副議長及び議会運営委員会が、各地区の代表である連合区長会（新旧区長）のみなさまと課題懇談会を開催しました。

本懇談会では、人口減少や近隣他市の動向を踏まえた各地区の議員定数に対するご意見を伺い、議員定数の在り方や議会の役割について、率直な意見交換を行いました。

今後は「議会と語ろう会」で議員定数をテーマとして市民のみなさまのご意見を伺い、その結果を踏まえ、必要に応じて「特別委員会」の設置等

の検討も視野に入れながら、議会としての方向性を示していきたいと考えております。

懇談会の詳しい
内容はコチラ



文教民生常任委員会の活動報告

行政視察

（小野市）

5月19日、小野市役所を訪問し、脳科学に基づく学力向上の取組を視察しました。

同市は、東北大学の川島隆太教授を顧問に迎え、「前頭前野を鍛えて心と知能を育てる」という理念の基、読み・書き・計算のアナログ学習を徹底しています。

独自教材「おの検定」は、合格を目指す意欲を引き出し、家庭学習の習慣化と基礎学力の定着に寄与していました。

また、ICT教育は「適正利用」を掲げ、端末の持ち帰りを控えるなど、デジタル依存の弊害を抑制しています。さらに、妊娠期から中学卒業までを支える「16か年教育」や現場に伴走する教育委員会へと組織改革を行われたことも大きな特

徴です。

視察で得た家庭と連携し「心を育てる」視点を、本市においても今後の課題として取り組む必要があると感じました。



ようこそ！西脇市議会へ

西脇市議会等の取組に対して、全国各地から視察に来られています。



熊本県熊本市 市議会議員
5月8日（金）
○都市計画の区域区分（線引き）
制度の撤廃について



北海道江別市 議会運営委員会
5月13日（水）
○正副議長の選出方法について
○予算決算の審査方法について
○委員会のオンライン出席について



東京都小金井市 議会運営委員会
7月1日（水）
○議会機能向上のための取組について
○市民参画制度について



愛知県 幸田町 議会広報特別委員会
7月2日（木）
○議会だよりモニター制度の運用等、議会
だよりの作成について
○オンライン予算広聴会等、広聴の取組に
ついて

西脇市での宿泊やお食事などしていただき、ありがたい限りです。
これからも互いに情報交換を行いながら、切磋琢磨して参ります。

令和8年度西脇市高校生議会を開催します

令和8年8月7日（金）午前9時から、市議会議場において、「西脇市高校生議会」を開催します。

市内3高校から選出された16人の高校生議員が参加し、本会議さながらの模擬議会を体験します。テーマは自由で、高校生議員が日頃感じていることや地域への思いをもとに、自ら提案や質問を行い、それに対して市議会議員が答弁を行います。

当日は、インターネットによるライブ中継を実施するほか、議場での傍聴もできます。

ぜひ会場へお越しいただくか、ライブ中継をご覧ください、高校生議員の熱意あふれる一般質問を応援してください。



ライブ中継は
こちらから



令和7年度西脇市高校生議会の高校生議員の皆さん

Facebookで情報発信中！

フェイスブックでも市議会の活動を発信しています！ぜひご覧ください。

<https://www.facebook.com/nishiwakishigikai>



フェイスブックは
このコードからも
ご覧いただけます。



本会議、委員会等はインターネット中継（ライブ・録画）でも
ご覧いただけます。



ライブ中継
（本会議）
はこちら



ライブ中継
（委員会等）
はこちら

9月の定例会



日	月	火	水	木	金	土
8/23	24	25	26	27	28	29
30	10:00 本会議 （第1日）	31 9/1	2	3	10:00 本会議 （第2日）	4 5
6	7	9:30 文教民生 常任委員会	8 9:30 予算 常任委員会 上記終了後 決算 特別委員会	9 9:30 決算 特別委員会	10 9:30 決算 特別委員会	11 12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	10:00 本会議 （第3日）	24 10:00 本会議 （第4日）	25 26
27	28	29	30	10/1	2	3

上記の日程は変更になる場合があります。最新の情報は
ホームページなどでご確認ください。

まちかどレポート

住所:西脇市黒田庄町喜多212 TEL:080-9095-0440

「立派な日本庭園があり、その先にあるどこか懐かしい空間」ゆっくりと食事が楽しめるお店です。



カフェ獅子丸の藤塚富康さん・美穂子さん夫妻は、温泉旅行やバイクツーリングを趣味とする仲の良いご夫婦。その穏やかなお人柄が、地域の方々に親しまれています。

営業時間 9:00～16:00
定休日 火・水曜日
モーニング 9:00～11:00

Q：西脇市へ移住された理由は。

将来のカフェ開業を見据え、店舗・住宅・駐車場が揃った物件を前職からの通勤圏内で探していたところ、これまで通過するだけだった黒田庄町内に初めて入り、のどかな居住空間、そして、夜の美しい星空に深く感動。「ここだ」と確信し理想の物件との出会いが、移住の決め手となりました。

Q：お店の由来は。

20年という長い歳月を家族として共に過ごした、愛猫『獅子丸』。彼との大切な思い出と感謝、そして、これからも心の中で一緒にいたいという強い願いを込め、『獅子丸』と名付けました。

Q：事業を始めようと思い立った理由を教えてください。

65歳を迎えた時、まだ新しい挑戦ができる年齢だと夫婦で話し合いました。バイク好きな私のために妻が「ライダーズカフェは？」と提案してくれたことがきっかけです。その後、予想以上に広い古民家と庭が見つかり、今の形になりました。

Q：私がおすすめのメニューは。

お客様から大好評の、毎朝焼き上げる出来立てのパンです。一番人気は「くるみパン」など3種から1種のパンが選べるモーニングです。安定した美味しさをお届けするため、厳選した生地を使用しています。ランチや特製カレーもおすすめです。

Q：議会や議員に一言お願い致します。

豊かな自然と温かい人が住む街であり、都市部への車移動が良い一方で、生活コストや空き家を懸念しています。若者世代への更なる支援を期待します。



発行 西脇市議会

〒677-8511 西脇市下戸田128番地の1

Tel: 0795-22-3111 ☞: gikai@city.nishiwaki.lg.jp

●発行責任者 西脇市議会 議長 村岡 栄紀

●編集／広報広聴特別委員会

委員長	岸本 年裕	副委員長	吉井 敏恭
委員	馬場 智大	委員	巽 泰
//	藤原 哲也	//	森脇 久夫
//	高瀬 弘行	//	高瀬 洋